

第Ⅴ部 調査票と単純集計結果

調査票と単純集計結果

調査期間 平成28年10月7日～10月31日
標本設計数 3,000 有効回収数(率) 1,313(43.8%)
*「n」は、質問に対する回答者数の総数を表す。
「-」は、回答者が皆無であることを示す。
*比率(%)の数値は少数第2位を四捨五入しているため、
合計が100%にならないことがある。

平成28年度(2016年)

神奈川県『県民ニーズ調査』(課題調査)

この調査は、県民の皆様のご意見やお考えをお聴きし、今後の県の施策を検討する基礎資料とするものです。日ごろのお考えを率直にお聴かせください。

【アンケートのテーマ】

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 環境に配慮した生活 | 7 障がいや障がいのある人への理解 |
| 2 生物多様性 | 8 「手話」への興味・関心 |
| 3 3R | 9 犯罪被害者等の支援 |
| 4 神奈川県の農業 | 10 男女共同参画社会 |
| 5 食・食育 | 11 県民の声・相談室 |
| 6 ヘルスケアICTの取組 | |

◆ 記入上の注意

- この調査のご回答は、**封筒のあて名のご本人様**にお願いいたします。
※ やむを得ない事情等によりご本人様にご回答いただけない場合は、お手数ですが、調査票は廃棄してください
- お名前、ご住所の**記入は不要**です。
- お答えは、直接、この調査票の**あてはまる番号を○**で囲んでください。
- ご記入いただく筆記用具の種類や色の指定はありません。
- わかる質問だけお答えいただければ結構です。

▼ **ご記入いただいた調査票は、同封の返送用封筒に入れ、10月31日(月)まで**にご投函ください。(切手は不要です。お名前やご住所の記入も必要ありません。)

この調査についてわからないことなどがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

【お問合せ先】

- 神奈川県 県民局 暮らし県民部 情報公開広聴課 広聴グループ
- 電話 (045)210-1111 (内線3672~3676)
※ 受付時間：月～金 8:30～17:15 (土日祝日は閉庁)
 - ファクシミリ (045)210-8838
 - 問合せフォームメール (10月31日までの期間限定)
県民ニーズ調査のHP(<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f3489/>)の下部に掲載している「平成28年度調査対象者」向け問合せフォームから送信してください。

環境に配慮した生活

問1 あなたは、多少値段が高くても再生可能エネルギーを利用した電力を購入したいと思いませんか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 購入したいと思う	25.7	3 どちらともいえない	43.9
2 購入したいと思わない	29.3		(無回答 1.1)

問2 あなたは、多少値段が高くても有機栽培など環境にやさしい方法で作られた農作物を購入したいと思いませんか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 購入したいと思う	52.3	3 どちらともいえない	31.2
2 購入したいと思わない	15.8		(無回答 0.7)

問3 あなたは、興味のある環境問題について情報を収集していますか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 収集している	20.6	3 どちらともいえない	27.8
2 収集していない	50.7		(無回答 0.9)

問4 あなたは、NPO等が行っている環境保全活動に参加したいと思いませんか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 参加したいと思う、すでに参加している	11.0	3 どちらともいえない	47.4
2 参加したいと思わない	40.5		(無回答 1.1)

問5 あなたは、企業等の持つ技術力が、地球温暖化などの環境問題の解決に生かされていると思いませんか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 生かされていると思う	45.8	3 どちらともいえない	32.4
2 生かされていると思わない	20.5		(無回答 1.4)

生物多様性

問6 あなたは、「生物多様性」の言葉の意味を知っていますか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 言葉の意味を知っている	28.3	3 知らなかった	
2 意味は知らないが言葉は聞いたことがある	38.5	(今回の調査で初めて知った)	32.4
			(無回答 0.8)

生物多様性とは、全ての生きもの間に違いがあることをいうものとされており、生態系・種間(種)・種内(遺伝子)の3つのレベルで多様性があるとされています。

- (1) 生態系の多様性：森林や里山、河川、海などの様々な環境が存在すること
- (2) 種間(種)の多様性：動植物から菌類、バクテリアに至る様々な生きものが存在すること
- (3) 種内(遺伝子)の多様性：同じ種であっても個体の形や模様、生態などに違いがあること

問7 生物多様性を保全するための様々な取組が行われていますが、多種多様な生物が生息できる環境の保全について、あなたはどのようにお考えですか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 人間の生活がある程度制約されても、生息環境の保全を優先する	39.5	3 人間の生活の豊かさや便利さを確保するためには、生息環境が失われてもやむをえない	1.7
2 人間の生活が制約されない程度に、生息環境の保全を進める	48.7	4 その他	1.1
		5 わからない	8.1
			(無回答 1.0)

問8 神奈川県における生物多様性の保全について、あなたは、どの取組が重要だと思いますか。次の中から特にあてはまるものを3つまで選んでください。(○は3つまで) (n=1, 313) (%)

1 山地や里山、都市や河川・海などの自然環境を保全する取組	85.2	5 一人ひとりの「生物多様性の理解と行動」に役立つ取組	30.4
2 希少な動植物を保護する取組	43.1	6 その他	1.4
3 外来生物を防除する取組	60.9	7 わからない	4.1
4 野生動物による被害を軽減する取組	29.2		(無回答 1.4)

問9 生物多様性について知る、または行動する機会として、あなたは、どの取組に参加したいと思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも) (n=1, 313) (%)

1 生物多様性の保全などに関する講座や研修会	17.4	4 緑地や里地里山など自然環境を保全・再生する活動	41.5
2 自然や生きものとふれあう自然観察会	39.2	5 みどりの保全などに対する募金や寄付	22.0
3 身近な生きものの生息状況などを調査する活動	19.5	6 その他	1.4
		7 参加したいとは思わない	18.1
			(無回答 2.8)

3 R

「3 R (スリーアール)」とは

ごみになるものを買わない・もらわない・ごみを少なくする(リデュース)、ごみとしてすぐに捨てずに繰り返し使う(リユース)、きちんと分別して資源として再生する(リサイクル)などの行動のことです。

問10 ごみの減量や資源化を進めるためには、消費者一人ひとりが、3 Rに取り組むことが重要です。あなたは、日常生活で、3 Rを意識して行動していますか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 常に意識している	32.9	3 あまり意識していない	11.3
2 少し意識している	53.3	4 まったく意識していない	1.2
		5 わからない	0.7
			(無回答 0.5)

問11 次の3 R行動のうち、行っていることはありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも) (n=1, 313) (%)

1 レジ袋をもらわない(買い物袋を持参する)	58.3	10 家庭で出たごみは市町村が定める種類ごとに分別して、定められた場所に出している	91.8
2 詰め替え用商品を選んでいる	75.6	11 家電製品4品目(テレビ、冷蔵庫、エアコン、洗濯機)と自動車を廃棄する際は販売店等に引き渡している	68.0
3 レンタル・リースの製品を使っている	4.5	12 携帯電話など小型電子機器を廃棄する際は、市町村回収や店頭回収に協力している	39.8
4 マイボトルを携帯している	41.6	13 リサイクル製品を購入している	14.7
5 旅行や出張の際に、マイ歯ブラシなどを持参している	43.3	14 その他	0.8
6 壊れたものは修理して長く使っている	38.4	15 特にない	0.8
7 食べ残しをしない、買いすぎをしない等、食品を捨てないようにしている	63.5		(無回答 0.5)
8 生ごみをたい肥にしている	5.9		
9 リユースショップなどで不用品を売ったり、中古品を買っている	22.9		

問 12 これまでの大規模な災害の経験から、災害時に発生したごみを安全に処理するため、また被災地を迅速に復興するためには、仮置き場等への分別排出や選別が欠かせないことがわかってきました。

大規模な地震や洪水等に伴って発生したごみ（壊れたり濡れたりした家具・家電、割れた食器等）を分別排出することについて、どう思いますか？（○は1つ）（n=1, 313）（%）

1 手間や時間がかかったとしても、 分別はきっちり行うべきだと思う	24.1	3 災害時は生活を復旧することが第一であり、 分別しないで出すこともやむを得ない	18.7
2 災害時に手間や時間をかけて分別 することは現実的ではなく、出来る 範囲で分別すれば十分だと思う	50.8	4 その他	1.0
		5 わからない	3.0
			（無回答 2.4）

神奈川県 の 農業

問 13 あなたは、農産物を購入する際に、地元産のものを優先したいといますか。（○は1つ）（n=1, 313）（%）

1 優先したいと思う	64.2	3 わからない	17.8
2 優先したいと思わない	16.8		（無回答 1.1）

問 14 あなたは、将来の神奈川県の農業をどのようにしたらよいと思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。（○は1つ）（n=1, 313）（%）

1 今後も様々な形で県が農業を振興することが必要である	76.1
2 農業は外国や他の都道府県にまかせ、県が農業を振興する必要はない	1.1
3 市場での競争に負けない力をもつ農業者だけが農業を続ければよく、県が農業を 振興する必要はない	8.4
4 その他	2.2
5 わからない	10.7
	（無回答 1.6）

問 15 あなたは、神奈川県の農業にどのような役割を期待しますか。特に期待するものを、次の中から1つ選んでください。（○は1つ）（n=1, 313）（%）

1 食料の安定供給	16.8	6 美しい風景や文化の継承	3.0
2 安全・安心な食料の供給	57.4	7 働く場の提供	2.9
3 価格の安い食料の供給	6.2	8 その他	1.1
4 災害時の避難場所など安全な空間の提供	1.9	9 わからない	2.1
5 自然や土とふれあう場・学習の場の提供	3.3		（無回答 5.3）

問 16 あなたは、県内にある農地の保全について、どのように思いますか。あなたの考えに近いものを1つ選んでください。（○は1つ）（n=1, 313）（%）

1 すべての農地を積極的に保全すべき	20.5	4 どちらかといえば農地の保全は 必要だと思わない	2.4
2 まとまった規模の農地であれば、 積極的に保全すべき	35.9	5 農地の保全は必要だと思わない	0.6
3 どちらかといえば農地を保全するほうが のぞましい	29.5	6 その他	0.8
		7 わからない	8.8
			（無回答 1.4）

食・食育

問 17 あなたは「食育」に関心がありますか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 関心がある	43.0	4 関心がない	2.8
2 どちらかといえば関心がある	39.6	5 わからない	4.0
3 どちらかといえば関心がない	9.3	(無回答)	1.4

問 18 あなたは、毎日の食生活で、健康的な食事内容を心がけていますか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 心がけている	77.6	3 わからない	10.1
2 心がけていない	11.5	(無回答)	0.8

問 19 あなたは、就寝前2時間以内に食事や夜食を食べることがありますか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 ほとんど毎日食べる	9.9	4 週に1日程度食べる	14.6
2 週に4~5日食べる	7.1	5 ほとんど食べない	49.3
3 週に2~3日食べる	18.2	(無回答)	0.9

問 20 あなたは、朝食を同居の方と一緒に食べますか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 ほとんど毎日食べる	42.3	4 週に1日程度食べる	7.0
2 週に4~5日食べる	4.2	5 ほとんど食べない	23.8
3 週に2~3日食べる	10.5	6 一人暮らし	11.3
		(無回答)	0.8

問 21 あなたは、夕食を同居の方と一緒に食べますか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 ほとんど毎日食べる	52.3	4 週に1日程度食べる	5.1
2 週に4~5日食べる	8.8	5 ほとんど食べない	7.8
3 週に2~3日食べる	13.9	6 一人暮らし	11.5
		(無回答)	0.6

問 22 あなたは、噛み方、味わい方といった食べ方に関心がありますか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 関心がある	32.0	4 関心がない	5.1
2 どちらかといえば関心がある	40.8	5 わからない	3.8
3 どちらかといえば関心がない	17.5	(無回答)	0.8

問 23 あなたが、歯と口の健康を保つために気をつけていることは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも) (n=1, 313) (%)

1 歯みがきをしている	94.8	6 かかりつけ歯科医を決めている	50.4
2 鏡を見て歯と歯肉のチェックをしている	25.4	7 年に1回以上、歯科検診を受けている	37.2
3 糸つきようじや歯間ブラシを使っている	46.8	8 その他	1.0
4 食べ物をよく噛むように意識している	33.4	9 特になし	1.8
5 顔や舌の体操(「健口体操」など)をしている	8.1	(無回答)	0.6

問 24 あなたは、健康的な生活を送るために①適切な食事、②定期的な運動、③週に複数回の体重計測、のいずれかを実践していますか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 実践しており、半年以上継続している	45.0	4 現在はしていないが、今後しよう	
2 継続して実践しているが、半年未満である	3.0	と思っ	10.7
3 時々実践しているが、継続的ではない	34.9	5 現在していないし、しようとも思わない	4.5
			(無回答 1.8)

問 25 あなたは、ご自分が食事のマナーや作法(例えば、いただきます・ごちそうさまのあいさつ、はしの持ち方、料理の並べ方など)を正しくできていると思いますか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 十分できていると思う	20.3	4 まったくできていないと思う	2.2
2 ある程度できていると思う	57.0	5 わからない	1.5
3 あまりできていないと思う	17.9		(無回答 1.0)

問 26 あなたは、ご自分が食品の安全性に関する知識(例えば、どのような食品を選んだほうがよいか、どのような調理が必要かなど)があると思いますか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 十分にあると思う	14.2	4 まったくないと思う	3.5
2 ある程度あると思う	55.1	5 わからない	2.2
3 あまりないと思う	24.0		(無回答 1.0)

問 27 あなたは、食べ物を無駄にしないよう気をつけていますか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 気をつけている	90.0	3 わからない	5.1
2 気をつけていない	3.8		(無回答 1.1)

【問28と問29は、職業として農林水産業に従事していない方のみお答えください】

問 28 あなたは農林水産業の作業などを体験したことがありますか。

なお、この体験には、みかん狩り・地引き網などの観光的な体験、家庭菜園などの体験、農業用水路の清掃などの環境維持活動なども含みます。(○は1つ) (n=1, 306) (%)

1 ある	58.7	3 わからない	1.8
2 ない	29.4		(無回答 10.0)

問 29 あなたは農林水産業を体験することに関心がありますか。(○は1つ) (n=1, 306) (%)

1 関心がある	24.2	4 関心がない	8.1
2 どちらかといえば関心がある	32.6	5 わからない	4.9
3 どちらかといえば関心がない	20.1		(無回答 10.0)

ヘルスケア | ICT の取組

神奈川県では、ICT(情報通信技術)を活用して、県民の方が主体的に、自分自身の健康・医療情報を管理し、心身の状態の維持・改善に取り組んでいただくことを目指しています。

そこで、県は、パソコンやスマートフォンで自分自身の健康情報を閲覧・管理できるアプリケーション「マイME-BYO(みびょう)カルテ」の運営を開始しました。

問 30 あなたは、自分自身の健康について関心がありますか。(○は1つ) (n=1,313)(%)

1 関心がある	68.7	4 関心がない	0.8
2 どちらかといえば関心がある	25.3	5 わからない	1.1
3 どちらかといえば関心がない	3.0		(無回答 1.1)

問 31 あなたは、自分自身の健康よりも、誰の健康について強い関心を持っていますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも) (n=1,313)(%)

1 配偶者(夫または妻)	56.3	4 祖父母	5.9
2 子供	53.5	5 その他	7.3
3 両親(父または母)	43.9	6 自分より強い関心がある人はいない	7.5
			(無回答 2.3)

問 32 あなたは、運動・食生活の改善など、健康の維持・改善に向けて何か具体的な行動をしていますか。(○は1つ) (n=1,313)(%)

1 既に積極的にやっていることがある	27.2	3 特に何かやっているわけではないが、	
2 健康に気をつけ、少しずつ行動		行動してみたいと考えている	30.6
を変えている	35.6	4 特に行動するつもりはない	5.5
			(無回答 1.1)

問 33 あなたは、神奈川県が公開している、パソコンやスマートフォンで自分自身の健康情報を閲覧・管理できるアプリケーション「マイME-BYOカルテ」を知っていますか。(○は1つ) (n=1,313)(%)

1 知っており、利用(登録)している	0.5	3 知らなかった(今回の調査で初めて知った)	91.9
2 知っているが、利用(登録)していない	6.2		(無回答 1.5)

問 34 あなたは、パソコンやスマートフォンで、自分自身の健康情報が閲覧・管理できるアプリケーションを利用してみたいと思いますか。(○は1つ) (n=1,313)(%)

1 既に利用している	4.3	3 利用していたが、今は使っていない	5.3
2 利用してみたいと思う	39.2	4 利用しようとは思わない	49.1
			(無回答 2.1)

問 35 あなたは、自分の健康情報が「見える化」・「データ化」できるとしたら、どのような項目がよいですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも) (n=1,313)(%)

1 歩数	31.8	3 睡眠の質	51.4	6 血圧	44.9	9 服薬情報	22.2
2 活動量(消費		4 心拍数	19.2	7 疲労度	46.3	10 その他	2.5
カロリー)	44.5	5 体重・体脂肪率	54.6	8 健康診断項目	31.3		(無回答 3.2)

問 36 あなたは、どのようなサービスがあれば、健康の維持・改善に向けた行動ができると思いますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも) (n=1,313)(%)

1 身体の状態が分かる指標が示され、行動		4 健康の維持・改善行動によって割引が	
によってその指標が変化するサービス	42.5	受けられるなどの金銭的なサービス	33.4
2 自分の心身の状態に合わせて適切な		5 健康の維持・改善行動によって社会貢献	
アドバイスをしてくれるサービス	58.3	(寄付など)ができるサービス	15.2
3 アプリなどを通じて自分の健康状態		6 その他	3.3
や歩数などの順位が分かるサービス	18.1		(無回答 4.9)

障がいや障がいのある人への理解

問 37 あなたは、平成 28 年 4 月に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）が施行されたことを知っていますか。（○は 1 つ）（n=1, 313）（%）

1 知っている 22.8 2 知らなかった(今回の調査で初めて知った) 75.7 (無回答 1.5)

問 38 あなたは、世の中には障がいのある人に対して、障がいを理由とする差別や偏見があると思いますか。（○は 1 つ）（n=1, 313）（%）

1 あると思う 57.1 3 あまりないと思う 6.4 5 わからない 2.9
2 少しはあると思う 29.2 4 ないと思う 3.0 (無回答 1.4)

問 39 あなたは、5 年前と比べて、障がい者に配慮した行動をとる人が増えたと思いますか。（○は 1 つ）（n=1, 313）（%）

1 かなり増えたと思う 8.8 4 まったく増えていないと思う 6.9
2 ある程度増えたと思う 35.0 5 どちらともいえない 12.9
3 あまり増えていないと思う 22.5 6 わからない 12.6
(無回答 1.2)

問 40 あなたは、オストメイトという言葉を知っていますか。（○は 1 つ）（n=1, 313）（%）

1 知っている 27.3 3 知らなかった(今回の調査で初めて
2 意味は知らないが言葉は聞いた 57.7
ことがある 13.5 (無回答 1.4)

※ オストメイト：人工肛門・人工膀胱を使用している人

問 41 あなたは、オストメイトの方がストーマ袋（排泄物を受ける袋）を適切に装着していれば、入浴、運動、仕事などの日常生活を健常者と変わりなく送ることができることを知っていますか。（○は 1 つ）（n=1, 313）（%）

1 知っている 35.6 2 知らなかった(今回の調査で初めて知った) 62.3 (無回答 2.1)

問 42 あなたは、オストメイトの方が公衆浴場を利用することに抵抗感がありますか。（○は 1 つ）（n=1, 313）（%）

1 抵抗感がある 7.6 3 どちらかといえば抵抗感はない 21.2 5 わからない 26.4
2 どちらかといえば抵抗感がある 27.1 4 抵抗感はない 15.2 (無回答 2.4)

問 43 見た目で分かりにくい内部障がい等に対して配慮が必要なことを示すマークとして、ヘルプマークがありますが、あなたはヘルプマークを知っていますか。（○は 1 つ）（n=1, 313）（%）

1 知っている 14.4 3 知らなかった(今回の調査で初めて知った) 73.0
2 意味は知らないが聞きしたことはある 10.5 (無回答 2.1)

【ヘルプマーク】



※ ヘルプマークとは、外見から分からなくても援助や配慮を必要としている方々が、周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるよう、東京都が考案したマークです。

神奈川県でもその目的に賛同し、普及・啓発を進めております。

※ マークの実際の背景色は赤色です。

・ヘルプマークについてより詳しく知りたい場合は、下記のHP（東京都）をご覧ください。
http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/shougai/shougai_shisaku/helpmark.html

「手話」への興味・関心

神奈川県では、手話の普及推進等により、ろう者とろう者以外の者が相互にその人格と個性を尊重し合いながら共生することのできる地域社会の実現のため、「神奈川県手話推進計画」を平成28年3月に策定しました。

※ ろう者…手話を言語として日常生活又は社会生活を営む者のこと。

問 44 あなたは、手話に関心がありますか。(○は1つ) (n=1,313) (%)

1 関心がある	13.6	3 どちらかといえば関心がない	30.2	5 わからない	12.0
2 どちらかといえば関心がある	31.5	4 関心がない	10.7	(無回答 2.1)	

↓ 【問 44 で「1～2 関心がある」とお答えの方に】

問 44-1 あなたが手話に関心を持ったきっかけは何ですか。(○はいくつでも) (n=592) (%)

1 テレビ番組	68.1	4 手話サークル等	10.1
2 本	6.1	5 その他	25.3
3 インターネット	2.0	(無回答 1.2)	

【全員の方がお答えください】

問 45 あなたは、手話を学んだことがありますか。(○は1つ) (n=1,313) (%)

1 学んだことがある、現在学んでいる	14.7	2 学んだことはない	81.8	(無回答 3.5)
--------------------	------	------------	------	-----------

↓ 【問 45 で「1 学んだことがある、現在学んでいる」とお答えの方に】

問 45-1 あなたは、手話がどの程度できますか。(○は1つ) (n=193) (%)

1 おはようなどのあいさつ程度	54.9	4 日常会話レベル	0.5
2 単語を並べて意思疎通がなんとかできるレベル	9.8	5 日常会話レベルより上	1.0
3 簡単な日常会話レベル	3.1	6 まったくできない	30.1
(無回答 0.5)			

【全員の方がお答えください】

問 46 あなたは、手話を学びたいと思いますか。(○は1つ) (n=1,313) (%)

1 学びたい、すでに学んでいる	28.8	2 学びたいとは思わない	31.7	3 わからない	36.9
(無回答 2.6)					

↓ 【問 46 で「1 学びたい、すでに学んでいる」とお答えの方に】

問 46-1 あなたは、手話を学ぶ場合、何で学びたいと思いますか。(○はいくつでも) (n=378) (%)

1 テレビ番組	40.5	4 手話サークル等	31.5
2 本	17.7	5 手話講習会	52.9
3 インターネット	18.3	6 その他	2.6
(無回答 1.6)			

問 46-2 あなたは、手話を学ぶ場合、どの程度できるようになりたいですか。(○は1つ) (n=378) (%)

1 おはようなどのあいさつ程度	7.7	4 日常会話レベル	17.2
2 単語を並べて意思疎通がなんとかできるレベル	29.9	5 日常会話レベルより上	3.2
3 簡単な日常会話レベル	42.1	(無回答 0.0)	

犯罪被害者等の支援

犯罪の被害にあうとそれまでは予期していなかった様々な問題に直面します。

そこで、平成 21 年に「かながわ犯罪被害者サポートステーション」を設置し、県、県警察、認定 NPO 法人神奈川被害者支援センターが一体となって、一つの窓口で被害者等が必要とする情報や支援を一元的に提供しています。

問 47 あなたは、「かながわ犯罪被害者サポートステーション」を知っていましたか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 知っていた	3.7	3 知らなかった(今回の調査で初めて知った)	85.6
2 名前を知っていたが事業の内容は知らなかった	9.4		(無回答 1.4)

問 48 犯罪被害にあわれた方やそのご家族(以下「犯罪被害者等」といいます)は、家族を失う、傷害を負う、財産を奪われるなどの直接的な被害だけでなく、犯罪に巻き込まれたショックによる心身の不調や、医療費などの経済的な負担、周りの人たちの心ない言動による精神的な苦痛など様々な問題を抱えています。

あなたは、あなたのご家族や友人などの身近な人たちに、犯罪被害者等が抱えている問題が認識されていると思いますか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 十分に認識されている	2.1	4 あまり認識されていない	37.1
2 ある程度認識されている	16.5	5 まったく認識されていない	9.1
3 どちらともいえない	15.4	6 わからない	18.3
			(無回答 1.4)

性犯罪・性暴力の被害者は羞恥心や自責の念などから、誰にも相談できずに悩んでいることが多いと言われています。

県では、性犯罪・性暴力の被害者がいつでも安心して相談できるよう、平成 26 年に 24 時間 365 日対応の「かながわ性犯罪・性暴力ホットライン」を設置し、電話で相談に対応しています。

問 49 あなたは、「かながわ性犯罪・性暴力ホットライン」を知っていましたか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 知っていた	9.9	3 知らなかった(今回の調査で初めて)	
2 名前は知っていたが、事業の内容は知らなかった	13.7	知った)	74.7
			(無回答 1.7)

問 50 「かながわ性犯罪・性暴力ホットライン」を知ってもらうためには、どのような方法が効果的だと思いますか。次の中から特にあてはまるものを3つまで選んでください。(○は3つまで) (n=1, 313) (%)

1 県のたより	30.1	10 電車の中吊り広告(女性専用車両)	20.3
2 県ホームページ	12.1	11 商業施設の化粧室に広報用カードを置く	19.1
3 ツイッター	7.5	12 産婦人科医院に広報用カードを置く	5.3
4 フェイスブック	6.9	13 保健所に広報用カードを置く	1.1
5 インターネット広告	18.3	14 市町村役場に広報用カードを置く	7.8
6 テレビ	45.0	15 学校に広報用カードを置く	11.1
7 ラジオ	9.9	16 映画本編前の広報	5.1
8 タウン誌、ミニコミ誌など	11.9	17 町内会の回覧板	20.4
9 電車の中吊り広告	28.9	18 その他	1.4

(無回答 6.7)

男女共同参画社会

問 51 あなたは、次にあげるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。

(1)から(7)までのそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つずつ) (n=1,313) (%)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
(1) 議会・行政等の政策決定の場で	17.1	43.2	18.6	0.8	0.2	16.9	3.3
(2) 家庭生活で	5.4	33.9	39.1	9.6	2.2	7.0	2.8
(3) 職場で	13.3	44.2	22.3	5.7	1.5	9.4	3.6
(4) 学校教育の場で	2.4	13.2	55.8	4.0	1.1	19.5	4.0
(5) 地域活動で(自治会・町内会、PTA、ボランティアなど)	4.4	20.6	44.9	8.3	1.3	17.3	3.2
(6) 社会通念・慣習・しきたりなどで	16.6	54.2	15.5	2.4	0.5	8.3	2.5
(7) 社会全体で	11.5	57.6	14.4	5.0	1.1	8.1	2.3

問 52 あなたは、次のような考え方について、どのように思いますか。(1)から(5)までのそれぞれについて選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

(n=1,313) (%)

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
(1) 夫は外で働き、妻は家庭を守る方がよい	6.9	18.1	35.5	7.4	28.8	1.6	1.8
(2) 一生独身でくらすより結婚した方がよい	33.1	26.8	23.8	2.6	8.6	3.1	1.9
(3) 結婚したら子どもをもつ方がよい	36.9	26.6	24.1	1.9	6.6	2.0	1.8
(4) 結婚しても相手に満足できないときは離婚してもよい	21.3	25.9	30.4	7.4	7.8	5.4	1.8
(5) 働くからには、昇進・昇格した方がよい	23.6	30.3	29.9	4.2	9.1	1.0	1.9

問 53 あなたは、次のようなことが夫婦（事実婚や別居中を含む）の間で行われた場合、それを暴力だと思いますか。(1)から(5)までのそれぞれについて、選んでください。

(○はそれぞれ1つずつ) (n=1,313) (%)

	暴力にあたる	暴力にあたる場合も そうでない場合もある	暴力にはあたらない	わからない	無回答
(1) 交友関係や電話を細かく監視する	28.6	47.9	14.2	6.3	2.9
(2) 大声でどなる	56.1	33.8	4.8	2.4	2.9
(3) 性的な行為を強要する	67.8	22.5	2.8	4.0	3.0
(4) 平手で打つ	86.7	8.5	0.9	1.3	2.6
(5) 生活費を渡さない	68.7	19.2	5.3	4.1	2.7

【問 54 は、配偶者のいる方のみお答えください】

問 54 あなたの家庭では、家事、育児、ご自身の親(実親・義理親)の介護を主にどなたがしていますか。次の(1)から(3)までについて、それぞれあてはまるものを選んでください。

(1) 家事 (○は1つ) (n=1,043) (%)

1 ほとんど妻	46.1	4 どちらかというと夫	1.9
2 どちらかというと妻	26.0	5 ほとんど夫	0.3
3 夫と妻が同じくらい分担	9.9	6 親や子どもなど夫婦以外	0.7

(無回答 15.1)

(2) 育児 (○は1つ) (n=1,043) (%)

1 ほとんど子の母親	31.7	5 ほとんど子の父親	0.3
2 どちらかというと子の母親	22.6	6 子の祖父母など親以外	0.4
3 父親と母親が同じくらい分担	4.8	7 育児を必要とする子はいない	21.9
4 どちらかというと子の父親	0.3		

(無回答 18.0)

(3) ご自身の親(実親・義理親)の介護(○は1つ) (n=1,043) (%)

1 ほとんど妻	13.1	5 ほとんど夫	1.2
2 どちらかというと妻	8.3	6 親や子どもなど夫婦以外	2.5
3 夫と妻が同じくらい分担	5.2	7 介護を必要とする親はいない	49.8
4 どちらかというと夫	1.6		

(無回答 18.2)

【全員の方がお答えください】

問 55 男性が家事、育児、介護や地域活動に関わっていけるようになるためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から特にあてはまるものを3つまで選んでください。(○は3つまで) (n=1, 313) (%)

1 職場の人員配置に余裕ができること	31.0	7 配偶者とのコミュニケーションを向上すること	21.2
2 上司・同僚の理解があること	54.5	8 配偶者が仕事を持つなど、家事等に	
3 残業が少なくなること	20.9	取組む必要性があること	9.8
4 休暇が取りやすくなること	44.9	9 時間の使い方の優先順位を変えること	10.8
5 昇進・昇給への悪影響がないこと	23.5	10 家事等は女性が行うべきという意識が変わること	33.2
6 時間当たりの賃金が改善すること	9.2	11 特にない	2.4

(無回答 5.4)

問 56 次の言葉のうち、今回の調査以前にあなたが見たり聞いたりしたことがあるものをすべて選んでください。(○はいくつでも) (n=1, 313) (%)

1 男女共同参画社会	57.5	6 ワーク・ライフ・バランス (仕事と生活の調和)	50.7
2 固定的性別役割分担意識	6.5	7 DV (配偶者からの暴力)	85.8
3 ポジティブ・アクション (積極的改善措置)	13.3	8 デートDV (交際相手からの暴力)	35.9
4 クオータ制 (性別による割り当て制度)	5.0	9 配偶者暴力相談支援センター	15.5
5 イクボス (部下の仕事と私生活の両立を支援し、自らも実践する管理職)	23.5	10 性的マイノリティ (LGBT)	49.6
		11 見たり聞いたりしたものはなし	4.1

(無回答 4.2)

問 57 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ) (n=1, 313) (%)

1 女性は職業をもたない方がよい	0.9
2 結婚したら職業をやめる方がよい	1.1
3 子どもができたなら、職業をやめる方がよい	3.1
4 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったらフルタイムで職業をもつ方がよい	13.5
5 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったらパートタイムで職業をもつ方がよい	21.8
6 ずっと職業を続ける方がよい	30.6
7 その他	12.3
8 わからない	13.1

(無回答 3.6)

問 58 現在、あなたやあなたの周りで、働く女性が男性に比べて、次のような状況にあると思うことはありますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)

(n=1, 313) (%)

1 同じ仕事をしていても賃金が少ない	31.2
2 結婚や妊娠、出産をすると勤め続けにくい雰囲気がある	43.6
3 教育訓練の機会が少ない、訓練の内容が異なる	9.0
4 配置転換が少なく、能力を向上させにくい	12.9
5 能力や成果があってもキャリアアップにつながるような仕事を任せてもらえない	20.8
6 能力や成果があっても昇進・昇格が遅い、または望めない	24.5
7 能力や成果があっても正社員となる機会が少ない	18.1
8 家庭との両立のため正社員以外 (非正規雇用) を選んでいる	37.9
9 その他	2.5
10 特にない	19.6

(無回答 5.6)

問 59 女性が活躍するためには、職場や社会、家庭等において、どのような取組や支援が必要だと思いますか。(〇はいくつでも) (n=1, 313) (%)

1	企業トップが女性の活躍の促進に積極的であること	47.2
2	職場の上司・同僚が、仕事と家事・育児、介護等の両立について理解があること	72.5
3	家事・育児、介護等との両立についての職場の支援制度が整っていること	68.5
4	企業内で長時間労働の是正について必要な措置が図られていること	33.0
5	フレックスタイムや在宅勤務など、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方の導入が図られていること	53.9
6	キャリアアップにつながるような仕事を女性に任せること	23.8
7	女性の仕事が適正に評価されること	46.8
8	身近に活躍している女性（ロールモデル）がいること	18.6
9	社会において政策・方針決定過程の場に女性を増やすこと	21.7
10	地域においてスキルアップに向けた講座やセミナーがあること	10.3
11	地域において就職相談等の再就職しやすい環境が整っていること	29.0
12	地域において保育や介護などのサービスが充実していること	51.9
13	家庭において男性の積極的な家事・育児、介護等への参画があること	51.9
14	その他	3.1

(無回答 4.0)

問 60 女性も男性もそれぞれの個性と能力を発揮できる社会の実現を目指して、県では、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも) (n=1, 313) (%)

1	政策・方針決定過程への女性の参画拡大	28.8
2	男女共に働き方の見直し（長時間労働の削減や、時間や場所にとらわれない柔軟な働き方の実現など）	61.9
3	保育・介護の施設やサービスの充実	70.7
4	出産、育児や介護等により離職した女性に対する再就職等の支援	55.2
5	若年層を対象とした、性別にとらわれず多様な選択を可能とするための学習機会の充実	19.5
6	男性の家事・育児等の参画を促進する広報・啓発活動	25.5
7	メディアにおける固定的性別役割分担意識に基づく表現をなくす取組	14.0
8	思春期、妊娠・出産期、高齢期など女性の生涯を通じた健康づくり	19.3
9	配偶者等からの暴力被害者への支援	19.2
10	貧困・高齢・障がい等により、困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境の整備	39.4
11	防災や災害時、復興過程における女性の参画や女性視点による体制確立	18.7
12	その他	1.2
13	特になし	2.7

(無回答 4.6)

県民の声・相談室

県では、県の仕事に関する問い合わせ（所管する所属がわからない場合の案内等）や要望・提案を受け付ける窓口として、県内9箇所（各地域県政総合センター等）に「県民の声・相談室」を設置しています。

問 61 県の仕事について、問い合わせをしたいときや要望・提案があるとき、どこにどのように連絡すると思いますか。(〇はそれぞれ1つ) (n=1, 313) (n=851) (%)

1 県庁(横浜の本庁) 24.3	3 2以外の県出先機関 5.7	連絡方法を ア～ウから1つ選 んでください	ア 電話する 73.9
2 各地域の県政 総合センター 34.0	4 その他 0.8		イ 訪問する 7.6
	5 わからない 25.7		ウ メールする 16.3

(無回答 9.4)

(無回答 2.1)

「県民の声・相談室」では、弁護士による法律相談や県警による暴力団に関する相談も行って
います。（横浜、川崎の相談室では、このほか司法書士・行政書士・税理士による相談、宅
地建物に関する相談、交通事故・警察の仕事に関する相談（横浜のみ）も行っていきます。）

問 62 「県民の声・相談室」における相談事業として、実施してほしいと思うものは何ですか。
次の中から3つまで選んでください。（○は3つまで） (n=1,313) (%)

1 県政に関する相談	16.9	5 交通事故相談	19.1	8 その他	2.5
2 弁護士相談	42.3	6 暴力団に関する相談	10.1	9 実施してほしいものはない	4.3
3 税理士相談	20.5	7 警察に関する相談	16.5	10 わからない	24.0
4 宅地建物相談	17.8				(無回答 5.3)

問 63 法律に関する困りごとについて相談したいとき、あなたはまずどこに相談しようと思いま
すか。（○は1つ） (n=1,313) (%)

1 市町村の法律相談窓口	45.3	4 神奈川県弁護士会の	6 その他	2.4
2 県の窓口（県民の声・相談室）	3.6	法律相談センター	7 わからない	16.2
3 ファテラス（日本司法支援センター）	7.9	5 弁護士事務所		(無回答 3.6)

…

● 最後に、集計結果を分析するために必要な項目についてお聞きします。（これは個人を特定
するものではありません。）

F 1 お住まいの地域はどちらですか。 (n=1,313) (%)

1 横浜（横浜市）	37.7
2 川崎（川崎市）	13.6
3 相模原（相模原市）	8.7
4 横須賀三浦（横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町）	10.4
5 県央（厚木市、大和市、海老名市、座間市、綾瀬市、愛川町、清川村）	9.7
6 湘南（平塚市、藤沢市、茅ヶ崎市、秦野市、伊勢原市、寒川町、大磯町、二宮町）	14.3
7 県西（小田原市、南足柄市、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町）	4.5
	(無回答 1.1)

F 2 あなたの性別をお聞かせください。 (n=1,313) (%)

1 男性	47.4	2 女性	51.0	(無回答 1.6)
------	------	------	------	-----------

F 3 あなたの年齢は、おいくつですか。（平成 28 年 10 月 1 日現在） (n=1,313) (%)

1 18～19 歳	1.2	4 30～34 歳	7.2	8 50～54 歳	10.1	12 70～74 歳	7.3
2 20～24 歳	4.0	5 35～39 歳	8.1	9 55～59 歳	7.8	13 75～79 歳	5.9
3 25～29 歳	5.0	6 40～44 歳	9.4	10 60～64 歳	8.2	14 80 歳以上	3.7
		7 45～49 歳	8.5	11 65～69 歳	12.3		(無回答 1.1)

F 4 あなたは結婚していらっしゃいますか。1～3の中から1つ選んでください。

また、「2 既婚」を選んだ方は、配偶者のご職業を右のア～ケの中から1つ選んでください。

(n=1,313) (%)

1 未婚	20.0
2 既婚（配偶者あり）	69.2
3 結婚していたが、 離別・死別した	10.2
	(無回答 0.6)

配偶者の
ご職業を
ア～ケから
1つ選んで
ください。

(n=909) (%)

ア 自営業主	8.7	オ 内職	0.3
イ 家族従業者（家業 手伝い）	2.5	カ 主婦・主夫（勤めに ついていない）	21.0
ウ 勤め（フルタ イム）	32.6	キ 学生	0.0
エ 勤め（パート タイム）	17.1	ク 無職	15.4
		ケ その他	0.7
			(無回答 1.8)

F 5 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(同居、別居は問いません。) 次のうちあてはまるものをすべて選んでください。(○はあてはまるものすべて) (n=1,313) (%)

1 小学校入学前	11.0	5 短大、専門学校等在学中	1.4	9 その他	2.9
2 小学校在学中	9.4	6 大学、大学院等在学中	5.0	10 子どもはいない	30.5
3 中学校在学中	5.9	7 学校教育終了 [未婚]	20.9		(無回答 4.1)
4 高校在学中	5.7	8 学校教育終了 [既婚]	26.7		

F 6 現在のお宅の家族形態は、次のどれにあたりますか。(○は1つ) (n=1,313) (%)

1 一人暮らし(単身世帯)	11.8	4 祖父母と親と子の世帯(3世代世帯)	5.9
2 夫婦のみ(1世代世帯)	29.2	5 その他の世帯	5.4
3 親と子の世帯(2世代世帯)	45.3		(無回答 2.4)

F 7 あなたは、育児または介護のために離職したことがありますか。(○は1つ) (n=1,313) (%)

1 育児介護両方のために離職したことがある	1.5	3 介護のために離職したことがある	3.4
2 育児のために離職したことがある	14.2	4 育児や介護のために離職したことはない	71.9
			(無回答 9.0)

F 8 あなたの現在のお仕事は、次のどれにあたりますか。1~9の中から1つ選んでください。また、1~5を選んだ方は、右のア~ケの中からそれぞれ1つ選び○で囲んでください。

(n=1,313) (%)

(n=793) (%)

1 自営業主 6.2 2 家族従業者(家業手伝い) 1.9	ア~ウから 1つ選んで ください。	ア 農林水産業 0.9
		イ 商工サービス業(各種商店、飲食店、工事店などの経営) 6.9
3 勤め(フルタイム) 37.9 4 勤め(パートタイム) 14.3 5 内職 0.1 6 主婦・主夫(勤めについていない) 16.0 7 高校生 0.0 8 学生(大学生、大学院生、専門学校生など) 2.7 9 無職 15.8 10 その他 1.0 (無回答 4.1)	エ~ケから 1つ選んで ください。	ウ 自由業(開業医、弁護士、茶華道師匠、芸術家など) 4.7
		エ 経営・管理職(会社等の部長級、官公庁の課長級以上) 7.2
		オ 専門・技術職(研究員、技術者、勤務医、看護師など) 19.7
		カ 事務職(事務系会社員・公務員、警察官、駅員など) 22.1
		キ 教育職(教諭、保育士など) 5.4
		ク 技能・労務職(工場の生産工程従事者、運転士など) 9.3
		ケ 販売・サービス職(商店、サービス業などの従業員) 21.3
		(無回答 2.5)

今回の調査でお伺いしたテーマについて、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

185人(14.1%)から自由意見が寄せられました。

最後までご協力いただき、ありがとうございました

同封の返送用封筒で、10月31日(月)までにご投函ください。(切手は不要です。)

[お願い]

この報告書の内容を引用された場合は下記までご連絡ください。
(印刷物の場合は掲載部分の写しをお送りいただければ幸いです。)

平成 28 年度県民ニーズ調査

基本調査 県民の生活と県政についての意識調査
課題調査 「環境に配慮した生活」「生物多様性」「3R」
「神奈川県 of 農業」「食・食育」「ヘルスケア ICT の取組」
「障がいや障がいのある人への理解」「『手話』への興味・関心」
「犯罪被害者等の支援」「男女共同参画社会」
「県民の声・相談室」についての意識調査

平成 29 年 3 月 発行

神奈川県県民局くらし県民部情報公開広聴課 広聴グループ

〒231 - 8588 神奈川県横浜市中区日本大通 1

TEL (045) 210 - 1111 (代表)



神奈川県

県民局暮らし県民部情報公開広聴課 広聴グループ
横浜市中区日本大通1 〒231-8588
電話 (045) 210-1111 (代表)